

「令和元年度 第3回大月みらい協議会」 会 議 概 要

日 時 令和元年7月26日（金）午後7時から午後9時まで

場 所 大月短期大学 会議室

出席者 委員15名（欠席7名）

委員 小俣理美、小林聡、佐藤總明、志村淳、庄司有紀、白川恵子、白川太、
鈴木龍子、中島啓介、福嶋尚美、三富聖久、矢光重敏、山口隆太郎、
武者稚枝子、渡邊光明 （※敬称略）

【事務局】 井上企画財政課長、久保井地域活性化担当リーダー、堀内、後藤

1. 小俣議長あいさつ

皆様こんばんは。梅雨が明けたのか明けていないのかよく分からない今日の天気でしたが、たぶん梅雨は明けたのではないかと私は思っています。

昨日、東京に行くことがありまして、東京は至る所で交通規制がありました。来年のオリンピックの時はどうなるのか少し心配しています。私は1964年に開催された東京オリンピックを見ております。多分56歳以下の方は初めてのオリンピックだと思います。東京はオリンピックでどんどん新しくなっています。是非、みらい協議会も新しいことに向かって、チャレンジしていければと思っております。よろしくお願い致します。

2. 議事

（1）令和元年度第2回会議概要について

- 会議概要を市ホームページへ掲載することについて審議を行い、市ホームページへ掲載することについて承認されました。

（2）今年度の取り組みスケジュールについて

【小俣議長】

それでは次に移ります。議題の2、今年度の取り組みスケジュールについてです。

この件については、山口副議長より説明をしていただきたいと思います。山口副議長よろしく申し上げます。

【山口副議長】

山口です。今年度の取り組みスケジュールについて説明させていただきます。

まず、みらい協議会の定例会です。次回（第4回）会議は9月中旬から下旬頃を予定しています。それ以降、10月の終わり、あるいは11月から12月にかけて開催をしていく予定です。また、年が明けましたら1月中旬から下旬頃に定例会を開催する予定です。

次に、「暫定グループの取り組み」についてですが、現在、「職場体験」、「学童クラブ」、「情報発信」の3つのグループに暫定で分かれています。この暫定グループの活動は年内を目途として考えております。期間としては秋口から年内までの半年弱を考えています。また次に説明をしますが、新しい取り組みも年内を目途に考えていただきたいと思います。

今日は、これからグループ会議を開催していただきまして、次のことを決めていただきたいと思います。1つは、暫定グループリーダーを選出していただきたいと思います。実際は継続して委員になられている方の中から選出をしていただくことになると思います。2つ目は、グループとしての今年度及び2年後の「目標」、「到達点」を決めてもらいます。なお、「目標」と「到達点」に関しては、今日決めていただかなくても結構です。今後、グループ別の会議等で徐々に固めていっていただければと思っております。

次に、新テーマ検討会についてです。暫定グループの活動と同時並行で、新テーマの検討会も立ち上げたいと思います。新テーマの提案は、前回小林委員からご提案いただいたような、形式は決まったものがあるわけではないのですが、次回（第4回）会議の開催案内で告知をしまして、委員の皆様から募集を開始したいと思っております。こちらからは、そのときに様式等もお示し致します。

次回（第4回）会議では、提案者に、提案されたテーマを発表していただき、その後、新しいテーマの検討会で、テーマの検討を始めていきます。新テーマ検討会の座長というか、取りまとめ役を私が務めさせていただこうと思っております。また、この検討会の開催時期は決まっているわけではありませんので、追ってご連絡をさせていただきます。

なお、テーマの提案は第4回が締切ということではありません。そこでご提案いただいたことをたたき台にしますので、11月、12月に提案をいただいても問題ありません。

この新しいテーマの検討会は、基本的に参加は自由ということにしようと思っております。継続事業の取り組みに集中している方や、新しいテーマを考えなければいけないという方で分かれてくるかと思っておりますので、自由参加という形にしたいと思っております。興味、関心があれば是非ご参加をいただければと思っております。

次に、確定グループでの取り組みについてです。まず、新テーマについては、年内を目途に何らかの形にして1月の定例会で発表するということで考えています。発表後、この定例会で皆様にご審議いただき、ご承認いただければ新たなグループとして動き出します。また、同じタイミングで、これまでの取り組みである「職場体験」、「学童クラブ」、「情報発信」についても、年内にはメンバーを確定していただきます。

なお、委員の皆様には、例えば2つのグループに関心があるということであれば、重複してグループに所属していただいても全く問題ございません。また、そのタイミングでグループの変更をしても全く問題ございません。ご承知おきいただければと思っております。

最後に、大月市・まち・ひと・しごと創生総合戦略の検証等についてです。大月みらい協議会では、この取り組みの他に、市で策定した総合戦略と呼ばれる計画の検証作業が入ります。今の予定では、10月の定例会で内容を説明して、その後、意見をいただくという流れがあるようです。これについては、この時期になった頃、事務局から説明等があると思います。今はご承知だけお願いできればと思います。現段階では、我々委員が特に何かするということはありません。今年度のスケジュール案としましては以上になります。

【小俣議長】

ありがとうございました。今年度の取り組みスケジュールについて、何かご質問、ご意見はありますか。

(意見・質問等なし)

それではご質問等がないようなので、今年度はこのような流れで進めていきたいと思えます。よろしくお願い致します。

(3) 暫定グループ会議

【小俣議長】

次に移ります。議事の3の暫定グループ会議についてです。

これから暫定グループにおいて会議に入っていただきますが、先程、山口副議長から説明がありましたが、グループで決めてもらうこととしては、暫定グループリーダーの選出をお願いします。そして、次回のグループ会議日時を決めてください。

それから、今日の会議では決めなくてもよいですが、今後決めていただくこととして、グループとしての今年度及び2年後の「目標」、「到達点」の設定をお願いします。

暫定グループ会議は、この会議室の時計で、午後8時25分までとします。なお、時間になりましたら、3つのグループリーダーより会議の内容の発表をお願い致します。それでは会議を始めてください。

- その後、「職場体験」、「学童クラブ」、「情報発信」の3つの暫定グループに分かれて、会議が行われました。
- 会議終了後、暫定グループリーダーより、会議の内容について発表を行いました。

< Aグループ（職場体験事業） >

【白川太委員】

Aグループのリーダーを務めさせていただくこととなりました白川です。よろしくお願い致します。Aグループは中学校に対する職場体験でございまして、昨年度、大月東中学校で行いました。今年度は1ヶ月くらい前に猿橋中学校で職場体験事業を行いました。大月東中学校の時には、結構準備の時間が取れていまして、いろいろなことを考えて進めてきました。結果は報告書にも書いてあるとおり、盛り上がった形となりました。

今年度猿橋中学校では、大月東中学校と同じ形のを4月くらいから始めましたが、やはり4月という時期で、先生方が異動で代わりまして準備期間があまりにも少ない中でやったことから、感想で言いますと、大月東中学校とは少し違った形となりました。

しかしながら、学校からのコメントでは、非常に良いことなので継続していただきたいということと、賛同する事業所を増やしていただければという要望がありましたので、我々の中では、この活動を継続的に行う機会をいただいているので、それをやりながら、中学生と事業所と保護者を含めた関係する方達で、「大月の事業所」や「大月の子ども」という部分を盛り上げていくことが一つの役目かなと思います。

今年度の予定としましては、10月に大月東中学校で職場体験が行われます。そちらの方に切り替えた内容でスケジュールを進めていくことになると思います。職場体験は10月の後半に行われますが、その前の10月の中旬くらいに「職業講話」を行う予定です。

職業講話では、「どのように仕事をしているのか」、「仕事をする上でどのようなことが大切なのか」ということを、各事業所が話していきます。これは事業所の話というよりも、製造業とか、商業とか、職種の話になろうかと思います。職場体験の少し前にそのような取り組みを行います。

職業講話をさらに遡って、大月東中学校では9月頃から職場体験について学習を始めるようなので、その時期をターゲットに、我々が作成している「みらい夢カード」を学校の中に貼り出します。この「みらい夢カード」というのが、最初に、子ども達に職業観や仕事ということに目線を向ける効果があります。学校はその瞬間から職場体験のモードになっていきます。

この「みらい夢カード」が、昨年度非常に反応が良かった要因です。いきなり職業講話や職場体験を行うより、「みらい夢カード」で、子ども達の目線を仕事というものに引きつけたり、地元を知るためのすごくいいきっかけとなっています。また、事業所側もやりやすいです。ここの部分が成功するための大きなポイントではないのかなと考えています。

昨年度10事業所がみらい夢カードを作成しました。昨年度は、私達が事業所側に声を掛ける時に、職場体験の受け入れをお願いしたいということで声を掛けていったのですが、受け入れるということになってくると、その時のタイミングや事業所の事情がありまして、受け入れてくれるところまで中々行きませんでした。

そこで、今年は目標を変えまして、「みらい夢カード」を作成していただける賛同事業所を増やすということを目指していくこととしました。そこから、参加していただける事業所数を増やしていくきっかけにしていきたいと思いました。実際に、これは子ども達に対して、「大月にはこんな事業所があるのか」ということを教えることで、それが子どもを通して保護者や学校関係者に話が伝わります。さらにそれだけでなく、その事業所の仕事に対して「こんなことが社会に貢献しているんだ」とか、「仕事ってこういうことをすることなんだ」という職業観が培われます。「みらい夢カード」の取り組みは、地元を知ることと職業観を知るきっかけとなり、ものすごく重要なカードになります。

「みらい夢カード」の取り組みには先生方や保護者の方々からたくさんのお声をいただいています。この部分に集中して、盛り上げていこうと思っております。

では、どうやって盛り上げていくのかということは、事業所数を増やしていくのかということになると思いますが、まずは、みらい協議会の委員の皆様で事業所として関係する方、これはご自分が経営していなくても結構ですが、皆様にまずは声を掛けさせていただきます。皆様に「みらい夢カード」を書いて頂きたい。とにかく多くの方に賛同してもらえれば、それが、次の大月東中学校での事業が成功する第一歩となります。子ども達のためと考えていただき、お忙しい中、それから無理もあるとは思いますが、皆様をお願いしたいと思います。

実際にどのようなことを書けばいいのかということについては、興味のある方に必ずご説明致します。それから提出していただければと思います。みらい夢カードの大月東中学校への提出は、8月末くらいを目途としていますが、それ以降になっても大丈夫です。そのようなスケジュールで進めていく予定です。「やってもいいよ」という声を出していただける方がいらっしゃれば、事務局に窓口を作りますので、事務局へご連絡ください。フォーマットも決まっています、A3のものになりますが、もしパソコンが苦手という場合も、内容を書いて写真をデータでいただければ、事務局がお手伝い致します。多くの方に「みらい夢カード」の作成をお願いしたいと思います。

また、飲食店など、個人で経営されている事業所でも「みらい夢カード」を書いていただき、学校に貼っていただくことを最終的なねらいとか目的にして、学校の廊下いっばいに「みらい夢カード」を並べるくらいにはしていきたいと思っておりますので、是非、皆様のご協力をお願いしたいと思います。グループの今後の取り組みについてはこのように進めていきたいと思っております。以上です。

< Cグループ（学童クラブ事業） >

【志村淳委員】

暫定的にリーダーを務めさせていただく志村です。よろしく申し上げます。7月22日、23日に7つの学童クラブを訪問して、「どんなことをしたいですか?」、「良かったらどうぞ言ってください。」という形でお聞きしました。その中で3つの学童クラブはこんなことをしたいという要望を言ってくださいました。後のクラブは不明確です。今から私達の考え方も含めながら相談していくことになると思います。

要望があった3つの学童クラブの内、「たんぼぼ」という鳥沢の学童クラブは昨年度と同じ「読み聞かせをしてほしい」という要望でした。内容については、昨年度より少し工夫をしたいなと思っております。また、読み聞かせだけではなく、もう1つ何かやりたいという要望もありました。読み聞かせの打合せと併せて、これから計画を立てていきたいと思っております。

2つ目は「やえざくらⅠ・Ⅱ」という大月東小学校の裏にある学童クラブです。ここで

は「市役所の見学」をしたいという要望がありました。近くて安全だからということもありました。市長室や議長室、議場だとか見るところはあると思いますが、そのような体験を、子どもを連れてしてみたいとのこと。併せて、「消防署の見学」もしたいとのこと。ただ、消防署への交通の部分が気になる場所でもありますので、その辺を十分カバーした形の体制を取っていければと思っております。これには、地域の皆さんの協力をどのような形でいただくのか、今から打合せに入っていきます。

なお、日にちについて、「たんぼぼ」は8月19日から21日の間で読み聞かせを行います。「やえざくら」の市役所と消防署の見学は、9月12日又は11月5日のどちらかで考えていますが、いずれにしろ今から決めて行きたいと思っております。

3つ目は「なのはな」という七保の学童クラブです。はっきりとは決まっていますが、葛野地区には、皆さんの中で、もしかしたら見たことがある方がいるかもしれませんが、中田屋さんというガソリンスタンドの左側の道下に、春になると菜の花が田んぼに咲きます。そこは秋になるとコスモスがたくさん咲きます。その感じがとても良いので、そこで何かやってみようかと考えていまして、これから地主さんに相談をする予定です。また、菜の花やコスモスをテーマにしながらどんなストーリーを作っていくのかということ、今から学童クラブと相談しながら考えていきたいと思っております。

他の学童クラブの取り組みは未定ですが、もう少し細かな打合せをしていきたいと思っております。また、打合せの中で、学童クラブの先生方から、「委員の皆さんが考えていることを教えてもらいたい」という話がありました。私達もそのように問われた時に、「こんなコマがあるよ」、「あんなコマがあるよ」というように、紹介してあげられるだけのコマを持っていたいということに改めて思いました。

そのようなことから、例えば「読み聞かせ」については、「大月市の民話を調べよう」とか、工作、絵画関係、スポーツなどのレクリエーションについては山梨県の関係機関がありますので、そのようなところを通じて、出前講座的なものがあるのかどうかを調べながら考えていきたいと思っております。これは山梨県だけでなく、大月市内でも隣近所でも、このような方がいるよという、極端な言い方を失礼かもしれませんが、「人材バンク」みたいな部分もコマとして持って、先生方と相談したいと思っております。

それから、学童クラブの子ども達との関わり方ですが、日常の中で、日々自然に関わっていくことが大事なのかなと思っております。イベント的なものを主にするよりは、まずは日々の関わり合いを大事にしたいと思っております。委員の方の中には、「そこに居てくれるだけで、地域の大人、お爺ちゃんお婆ちゃんが一緒に居てくれるだけでも有難いな、あるいは楽しいな」という子ども達はいるはずだ」とおっしゃっていました。「そこを基本にして大事にしていこう。そこから夢みたいなものに繋がっていけばいいね。」という意見がありました。そのように捉えていければいいなと思っております。その上で、イベント的なものを当然考えていくことが、この1年間の事業かなということまで、今日の会議で話をさせていただきました。以上です。

<Dグループ（情報発信事業）>

【中島啓介委員】

暫定Dグループのリーダーを務めさせていただく中島です。よろしくお願ひ致します。まず、私達Dグループの2年後の目標について、私達の任期が2年という中で、2年で終了するのはもったいないということで、2年後に何か残せるものを始めるきっかけになればいいなと思いました。出来れば大月市が、私達が発信する情報発信の手法を取り込んでもらって、引き継いでもらえれば最高かなと考えました。このようなところが2年後の到達点としました。

次に、活動の内容ですが、前年度取り組みました「大月仕事人」の広報掲載を継続することとしました。人材の選定を行っていくのですが、そこにひと工夫として、取材の際に、前回メディアが取材に来てもらいました。メディアに取材のプレスリリースを出すことが意見として挙がりました。「大月仕事人としてこのような人を取材するので、良ければメディアに掲載してもらえませんか？」というプレスリリースをやれば、必ずではありませんが、興味を持ってもらえれば、広報だけでなくメディアで紹介してもらって、ダブルで効果が出るのかなということ 아이디어としていただきました。

また、情報発信活動として、「このみらい協議会自体の活動を情報発信したらどうか？」という意見がありました。みらい協議会の皆さんは汗をかいて素晴らしい活動をしていらっしゃると思います。事業所の募集や学童クラブの活動の予定等を、私達で情報発信できないかということです。例えば広報の「大月仕事人」のコーナーの一部分に、職場体験のグループの活動や学童クラブの活動や予定を「このようなことをしますよ」という形で掲載できればいいのではないかという意見でした。ただ、それについては、我々が情報を集めるということもあるのですが、出来ればそれぞれのグループの方から「こういう内容を広めてください」ということを、記事や文章でいただければ、グループの活動を発信できるのかなと考えております。

ここまでは紙媒体、広報おおつきに掲載するようなことでしたが、電子媒体と言いますか、WEBの活用も始めていきたいと考えています。それについては、いろいろ事情がありまして、市のホームページを間借りすることは難しいようで、やり方は検討中ですが、別のサイトを立ち上げるとか、SNSのアカウントを作ってしまうとか考えられますが、これについては検討中で、次回までの宿題としました。運用の仕方としては、WEBサイトというかニュースサイトの記事をみんなから募集する、不特定多数から募集するという方法が横浜市にありました。「はまれぽ」というサイトがあります。そこには食べ物や観光スポットの情報がどんどん掲載されるという投稿型のサイトとなっています。投稿者は市民やそこを訪れた人が行き、それを集める仕組みが出来ているそうです。それを真似て、「はまれぽ」ならぬ「つきれば」が出来たらいいなと思うのですが、何分WEBサイトの運営にはお金がかかります。また、結果が出るまで時間がかかります。これはアイデアとして出来るのであればやりたいのですが、どうかなと思う部分でもあります。

後、次回の会議までにこのグループでは仕事人を選んでくるとか、取材を受けてくれる人を見つけてくるのが宿題となっていますが、次回の会議の時に、是非新市長に来ていただきたいという話がありました。市長が代わることでこの協議会がなくなるのではないかという不安がありました。例えば方針が全く変わってしまうとかはないとは思いますが、この協議会に対して、新市長の後押しをいただきたいという話がありました。小俣議長には、次回の定例会の時には、新市長に挨拶をしていただきたいと言っていたきたいと思います。皆さんのモチベーションも上がるのではないかと思います。以上です。

(4) その他

【事務局：堀内】

- 次回会議の日程は、9月中旬から下旬頃を目途に議長、副議長と日程調整をさせていただき、委員の皆様にはメール及び郵送にて次回のご案内をさせていただきます。